事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表: 2022年 2月 5日

事業所名: こどもサポート教室「きらり」 白山松任校

		チェック項目	はい	どちらともい えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0			
環	2	職員の配置数は適切であるか	0			関係法令に則った職員配置をおこない、1 対 1 での支援を提供しております。
境・体制整備	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が 適切になされているか			0	1階・2階の校舎のため、外階段での行き来となっている。天候が悪いと滑りやすいため、児童の移動の際は指導員と一緒に行うなど工夫をしている。1階2階の伝達方法がインターフォン(通話はできない)で行っている。トイレの手洗いの際に、踏み台を設けているが、もう少し工夫をし使いやすい環境を整えていく。
	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標 設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか	0			
業	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、 業務改善につなげているか	0			
務改	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームペ ージ等で公開しているか	0			毎年、ホームページ内で公開している。
善善	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか			0	現在、第三者評価はしていないが、上長の 巡回であったり、内部監査等で事業所の書 類を確認してもらっている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	0			連携機関である発達支援研究所の研修を 毎月受講している。
適	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズ や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサ ービス計画を作成しているか	0			
切な支	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化さ れたアセスメントツールを使用しているか	0			全国のこどもサポート教室「きらり」で使用しているアセスメントツールを使用している。
援の提	(1)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	0			校舎内で話し合いを行いつつ、必ず管理者 に確認をしてもらってプログラムを作成してい る。
供	(12)	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	0			常に児童の様子や教材に対する反応を見 ながら工夫していく必要がある。

		平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細や				
	13)	かに設定して支援しているか	0			
	14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適 宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成 しているか	0			
	(15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日 行われる支援の内容や役割分担について確認して いるか	0			毎回行うようにはしているが、個々で考える こともあるため、前回支援の様子や児童の 様子について確認を行っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等 を共有しているか	0			終礼時に、児童の気になることや保護者様から頂いた意見などを共有している。
	17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか	0			3 日以内に記録を記載することを徹底している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービ ス計画の見直しの必要性を判断しているか	0			月に1回以上はモニタリングを行い、児童の状況を確認している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	0			
関係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか	0			
機関や保	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	0			必要に応じて情報共有を行っている。授業 参観や学校公開週間の際も各学校に連 絡を取り、情報の伝達を行っている。
護者	(2)	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0			現在受け入れはないが、今後受け入れとなった場合は、連携をしていく。
との連携関係機	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		0		コロナウイルスの状況もあり、話し合いの場が持てなかったが、相談員からの情報をお聞きし職員に周知している。今後のコロナウイルスの状況も鑑みながら連携を深めていきたい。
関や保	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか		0		例がまだないが、今後そのようなことがあった場合は、相談員や各種関係機関も含めて連携を図っていきたい。
護者との	35	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0			発達相談センターとの連携を組み、必要 な情報をお聞きしたり伝達している。
連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			0	児童館などとの交流は少ないが、きらりひ ろばで児童の兄弟姉妹児が参加するケー スはあり、交流を図っている。

	2	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		0	市のこども部会へ参加をしており、意見交換 を行ったりしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持ってい るか	0		支援後に必ず当日の支援の様子を確認 し、必要に応じて学校や家庭での様子を お聞きして情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0		
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか	0		契約時に丁寧にお伝えしている。
者への説	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	0		保護者様のご希望を受けて相談を行ったり、「きらり」の方から相談が必要と感じた保護者様にはお声をかけて相談をしている。
明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0		ママカフェを行い、保護者様のお困りなこと、 保護者同士で共有する場を設けて、交流 を図っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制 を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦 情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	0		苦情があれば職員全員で解決に向けた話 し合いを行い、真摯に対応していく。
	34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して 発信しているか	0		月に2回ブログを投稿し、「きらり」での取り組みを紹介している。
	35)	個人情報に十分注意しているか	0		個人情報は鍵付きの書庫で厳重に保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報 伝達のための配慮をしているか	0		保護者様によっては、書面で支援の様子を お伝えしていることもある。
	37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0		パンフレットや校舎のチラシを地域の店舗に 置かせていただいている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知してい るか	0		特に感染症対策については、チェック表を設け、体調管理の徹底を行っている。
非常時等	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか	0		毎月避難・防災訓練を行っている。 年に2回は児童・保護者参加の避難・防 災訓練も行っている。
の対	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	0		年に1度は虐待防止研修を行っている。
応	41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0		契約時に必ず保護者様にお伝えしている。

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか	0		食事の提供は行っていないが、給食やお菓子を食べて来校した際に、アレルギー反応を 起こす可能性もあるため、初回面接の際に お聞きしている。
43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有して いるか	0		職員間で共有し、事故への発展がないよう に周知している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

公表: 2022年 2月 5日

事業所名: こどもサポート教室「きらり」 白山松任校 保護者等数(児童数):42 回収数:21 割合:50%

		チェック項目	はい	どちらともいえ ない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている か	19	2		
環境・体制	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	4		・適切な職員の配置数が、よくわからない。 説明が行き届いておらず、申し訳ございません。職員の配置につきましては、関係法令に 則って配置しております。
整備	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバ リアフリー化の配慮が適切になされているか	11	9	1	・雨の時に外階段が濡れていて滑りそう。 階段に滑り止め対策はしてありますが、天候 が悪いと滑りやすいため、児童の移動の際は 指導員と一緒に行うなど工夫をしております。
適切	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	21			
な	(5)	活動プログラム が固定化しないよう工夫されている か	18	3		
支援の提供	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	12	7	・コロナ対策のため、活動の機会がないのは 仕方のないことだと思う。コロナウイルスの影響ももちろんありますが、今 後、機会がありましたら交流もできればと思っ ております。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21			
保護者	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解ができてい るか	20	1		・毎回最後に、子どもの状況を話してもらえるので、とてもいいと思う。ありがとうございます。今後も丁寧な情報共有を心掛けてまいります。
へ の	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21			
の説明等	19	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されている か	9	7	5	・一度ママカフェがあったが、もっとあってもいいのかなと思う。貴重なご意見ありがとうございます。保護者様同士の交流は必要と感じています。今後もママカフェや保護者様同士が交流できる機会を設けてまいります。

	11)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	8		・苦情がないので対応については、よくわからない。苦情等がありましたら、管理者にお知らせください。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21			・電話で伝えるほどでもない、日常の子どもの様子を伝える時に、本人の前では言いにくく、ためらう時がある。 お子様一人ひとりに合った情報伝達をさせて頂いておりますが、配慮が欠けてしまい申し訳ございません。今後、より一層気をつけてまいります。別途相談の時間も取らせていただきますので、お気軽にお申し付けください。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	3	1	・月に2回ブログの投稿を行っております。きらりひろばでの様子など、個人情報に最新の注意を払いながら、きらりでのお子様の様子がわかるよう投稿しております。
	<u>(14)</u>	個人情報に十分注意しているか	20	1		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されて いるか	15	5	1	
非常時等の対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	7	2	・児童・保護者参加型の訓練に参加したことがない。 伝達が行き届いておらず申し訳ございません。主に3月・9月の年2回児童・保護者参加型の防災訓練を行っております。その他にも、月に1回の定期的な防災訓練・防犯訓練も行っております。1階玄関に防災訓練に関するポスターが掲示しておりますので、機会がありましたらご覧いただければと思います。
満足度	17)	子どもは通所を楽しみにしているか	17	4		・「魅力的な場所」と言って「きらり」に行くのを楽しみにしている。 ・「行きたい」と言うときもあるが、「行きたくない」ということもある。 嬉しいお言葉ありがとうございます。今後も楽しいと思える支援をさせていただきます。また、きらりをご利用いただく中で、笑顔が見られる支援を提供してまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	20	1		いつもお世話になり助かっている。子どもの能力や気持ちに寄り添って対応していただいていると思う。

		• ₹	もう少し時間が長いと嬉しい。
		貴	量重なご意見ありがとうございます。 他方から
		Г	もっと長い時間見てほしい」というご意見を
		頂	頁戴しております。 きらりをご利用いただく中
		€	お子様の成長・発達を促し、お子様が楽し
		U	と感じる支援の提供をしてまいります。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。